

【事業者向け】児童発達支援事業所における自己評価結果

□2021年7月実施

評価対象事業所：ネクストエール立川教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	86%	14%		室内の大きさに対し、児童数は適切に配置しています。
	2	職員の配置数は適切である	86%	14%	職員配置について協議をして調整をして取り組んでいる。	直接支援にあたる職員を毎月考え、対応しています。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	86%	14%	支度の箱を用意する等して対応している。	注意が散漫にならないように、視覚的に遮断をする工夫や、教具・玩具は使用時のみ提供しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	100%	0%	使用ごとの消毒をしている。	朝と夕方に職員による清掃を実施しています。また口に入れても安心な除菌イオンミスト噴霧器で満遍なく、噴霧して除菌しています。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%	朝・療育後に振り返っている。	定期開催の会議等を実施し、事業所での目標を設定しています。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	86%	14%		今回のアンケートが初回となる為、今後も実施、改善につなげていきます。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	72%	28%	インスタ・ブログなど	今回のアンケートが初回となる為、今後も実施、改善につなげていきます。また日々の活動のプログラムは毎月のおたよりにてお知らせを実施しています。またSNS(インスタグラム)を通してもお子様の様子を掲載することで対応しております。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0%	100%		株式会社メルフィスが実施予定。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	オンライン講習を受講。	外部講師によるオンライン研修を予定している。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	100%	0%		
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	72%	28%		声かけや対応方法等について、共通認識のもと実施できるように情報共有とミーティングを実施してまいります。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	86%	14%		個別支援計画において、支援目標を「発達支援」「家族支援」「地域支援」の項目に分け、具体的な演目目標を設定させて頂いております。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	100%	0%		
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	86%	14%		複数人での確認を実施し、作成しています。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	成長過程を考え新しい活動も取り入れています。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成している	86%	14%		
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%		朝のミーティングを必ず実施しています。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%		送迎の兼ね合いですぐには出来なくても必ず振り返りを実施しています。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	86%	14%		日誌・児童別支援記録を作成しています。
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	専門職に見て頂く時間を作って支援計画の作成に繋げています。		
関係	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	72%	28%		電話等での実施が多く、お子様の状況にはクラス担当や児童発達支援管理責任者が対応している。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	100%	0%	教室でしている支援を家庭と共有。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	×	×		該当する児童が利用していません。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	×	×		該当する児童が利用していません。

機関や保護者との連携	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	72%	28%	関係施設と電話にて情報を共有。	今後、さらに実施できるよう努めて参ります。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	72%	28%		今後、さらに実施できるよう努めて参ります。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	86%	14%	オンラインにて実施。	研修の機会があれば、是非参加して参ります。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0%	100%		弊社が運営している保育園との交流予定を計画しています。しかしコロナ禍ということもあり、実施は見送っております。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	0%	100%		今年度、秋ごろを予定しています。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%		共通理解を得られるように努めています。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っている	72%	28%		今後、実施していく予定です。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%		電話や見学に来た際にご説明させて頂いております。また問い合わせの際には迅速な対応に努めています。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	100%	0%		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%		
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0%	100%		実施する予定でいる。コロナ禍の為、延期している現状。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%		
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	毎月のお便りを配布。	毎月のおたより、活動については毎日SNS(インスタグラム)での発信を実施しています。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	100%	0%		
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	メール・電話・ノートを通して配慮をしています。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0%	100%		コロナ禍の為、実施できていません。
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	50%	50%		保護者の方に周知が出来ていない。お便り等で周知をしていきたい。
非常時等の対応	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	86%	14%		定期的に避難訓練を実施している。避難訓練は近隣の小学校を避難場所とし、想定しながら訓練を実施しています。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	86%	14%		利用時に書類にて提出して頂いております。服薬についても変更等あった際には、ご連絡を頂く体制をとっています。情報は職員間で共有しております。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	86%	14%		事業所内にも提供前の確認と該当するお子様の一覧表を掲示して、職員間で確認し、おやつ提供など実施しております。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%		ヒヤリハットが発生した段階で、共有を実施しております。会議を通して、再度周知、発生したものの再発防止策の確認を実施しております。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	0%	100%		定期的な開催が出来ていない。会議等で時間を作り実施していきたい。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	86%	14%		アセスメントをとったうえで、お子様の状況に合わせて適宜、職員間で協議し、保護者様に説明をさせて頂いております。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

【事業者向け】放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

□2021年7月実施

評価対象事業所:ネクストエール立川教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	「静」「動」の部屋に分けて個別課題や活動に取り組めるようにしています。	室内の大きさに対し、児童数は適切に配置しています。
	2	職員の配置数は適切である	72%	28%		直接支援にあたる職員を毎月考え、対応しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	86%	14%		
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	86%	14%		定期開催の会議等を実施し、事業所での目標を設定しています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	50%	50%		今回のアンケートが初回となる為、今後も実施、改善につなげていきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	0%	100%		今回が開所後初めてのアンケート実施の為、掲載予定です。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0%	100%		株式会社メルフィスによる評価を実施予定です。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	86%	14%	オンラインセミナーを受講している。	外部講師によるオンライン研修を予定している。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	72%	28%		朝と夕に職員でのミーティングを実施し、分析や情報の共有を実施しています。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	72%	28%		声かけや対応方法等について、共通認識のもと実施できるように情報共有とミーティングを実施していきます。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	72%	28%		複数人での確認を実施し、作成しています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	86%	14%		一日の流れは変わらないようにルーティン化しています。活動内容は週間で変えたり、毎日変える等して対応しています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	72%	28%		休日等の場合は、利用時間が長い為、外出活動を設けたり、午前と午後にかけて活動を実施して取り組んでいます。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	58%	42%		個別支援計画に基づき、お子様の状況に適宜対応しながら、継続的支援ができるようにしていきます。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	50%	50%		当日にすることが難しい場合は前日等に予め話し合いや引継ぎをしておく。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	72%	28%		日誌等を確認する時間を作る。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	86%	14%		日誌・児童別支援記録を作成しています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	72%	28%		送迎時や毎回の利用の際に、お子様の状況を把握するよう努めています。適宜必要に応じて面談や電話相談を実施しています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	86%	14%		ガイドラインは事業所に常備しており、周知しています。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	86%	14%		電話等での実施が多く、お子様の状況にはクラス担当や児童発達支援管理責任者が対応している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	86%	14%	送迎時に担任の先生と話をしたり電話にて様子を確認しています。	送迎時や適宜学校の担任の先生より情報を共有して頂いたり、支援の方向性について定期的に確認を実施しています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0%	100%		現在、利用しているお子様はいません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	0%	100%		今後実施していきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	0%	100%		現在、当事業所に該当するお子様は利用されていません。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	28%	72%	相談員の方とのやり取りは不定期ですがあります。	相談支援事業所からのモニタリング時期に合わせた共有はあります。研修があれば、是非参加していきたいです。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0%	100%		コロナ渦の為難しいが改善後は実施していきたいです。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	28%	72%		今年度、秋ごろを予定しています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%		電話や送迎時での対応をさせて頂いております。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	72%	28%	面談や電話にて話をしています。	今後は保護者会等を通して実施していきたいです。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%		電話や見学に来た際にご説明させて頂いております。また問い合わせの際には迅速な対応に努めています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	72%	0%		今後も寄り添えるように努めて参ります。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0%	100%		コロナ渦の為難しいが改善後は実施していきたいです。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%		迅速に対応し、内容については職員間で共有・協議したうえで、ご利用者様の不満を取り除けるように努めています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%		毎月のおたより、活動については毎日SNS(Instagram)での発信を実施しています。
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	86%	14%		共通理解が得られるよう努めております。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0%	100%		実施していません。コロナ禍ということもあり、感染拡大防止の為、延期にしています。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	28%	72%		マニュアルの策定はしています。職員への周知も実施していきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%		定期的に避難訓練を実施している。避難訓練は近隣の小学校を避難場所とし、想定しながら訓練を実施しています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	72%	28%		定期的な研修を実施していきます。職員には項目立てて、セルフチェックも実施しております。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	72%	28%		アセスメントをとったうえで、お子様の状況に合わせて適宜、職員間で協議し、保護者様に説明をさせて頂いております。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	42%	58%		事業所内にも提供前の確認と該当するお子様の一覧表を掲示して、職員間で確認し、おやつ提供など実施しております。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%		ヒヤリハットが発生した段階で、共有を実施しております。会議を通して、再度周知、発生したものへの再発防止策の確認を実施しております。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。